

2001年（平成13年）天候概況

天候の特徴

- ・ 冬（12～2月）：北陸地方は5年ぶりに平年並の冬となったが、冬型の気圧配置となる日が多く、強い寒気が南下した1月中旬は北陸西部で、2月中旬には北陸東部で大雪となった。
- ・ 春（3～5月）：気温の変動が大きい3月～4月。少雨傾向の4月～5月。高温顕著な5月。
- ・ 夏（6～8月）：梅雨入り・明けが早く、夏平均気温（6月～8月）は3年連続で高温。
- ・ 秋（9～11月）：気温の変動が大きく、ここ数年続いた厳しい残暑とはならなかった。

今年の主な天候の経過

冬（2000年12月～2001年2月）

☆ 15年振りに福井県で大雪（平成13年1月13日から17日）

12日から冬型の気圧配置が強まり、15日には上空に今冬一番の寒気が流れ込んだ。福井県は13～17日にかけて強い雪が断続的に降り続いた。福井市で昭和61年の冬以来15年ぶりに積雪の深さが93 cm（1/17）、敦賀市で96 cm（1/17）を記録するなど、各地で大雪となった。

春（3月～5月）

3月～4月にかけては周期的に強い寒気が南下して気温の低い時期があったが、南からの暖かい空気が流れ込んで気温のかなり高い時期もあり、気温の変動が大きかった。4～5月は高気圧に覆われ、晴れる日が多く少雨傾向が続いた。5月は中旬に真夏日を観測するなど、気温の高い日が多かった。

☆ やや早い桜（ソメイヨシノ）の開花。

福井で4月2日（平年4月5日）、敦賀で4月1日（平年4月4日）に開花し、平年に比べて早い桜の開花となった。満開は福井で4月8日（平年4月10日）、敦賀で4月7日（平年4月9日）。

夏（6月～8月）

梅雨入りは早く、6月は梅雨前線の活動が活発で多雨、寡照となったが、7月は一転して少雨、多照となった。梅雨明け以後は太平洋高気圧の張り出しが強く、晴天と高温が8月初めまで続いた。

☆ 1951年以降で最も早い梅雨明け（7月2日頃）

7月2日頃の梅雨明けは1951年以降で最も早い梅雨明けの記録（1978年で7月8日頃）を更新した。

「北陸地方の梅雨入り：6月5日頃（早い） 平年値：6月10日 昨年：6月8日頃」

「北陸地方の梅雨明け：7月2日頃（早い） 平年値：7月22日 昨年：7月19日頃」

秋（9月～11月）

気温は、9月は平年並で10月は高かったが、11月は中旬に寒気が入ったため低くなり、気温の変動が大きかった。また、9月上旬の気温は平年並で、ここ数年のような厳しい残暑にはならなかった。

冬（12月）

日本付近を周期的に低気圧が通過し、通過後は冬型の気圧配置となることが多かった。初雪を福井で12月10日（平年12月1日）、敦賀で12月11日（平年12月5日）に観測した。

今年の台風発生数

年間発生数は26個で、平年並（26.7個）であった。日本本土への上陸数は2個（第11号、第15号）でいずれも北陸地方に接近したが、大きな被害はなかった。

2001年（平成13年）月別気象概況

1 月

上旬は、6日まで冬型の気圧配置が続いて雪や雨となったが、3～5日は強い寒気が入り山沿い山間部で大雪となった。後半は短い周期で本州付近を低気圧が通過し雨の日が多かった。中旬は、13～17日にかけて強い冬型の気圧配置が続き県下全域で大雪となった。積雪の深さは、17日に山沿いや山間部で2～2.5メートル、平野部で1メートル近くに達した所があった。下旬は、24日と31日は高気圧に覆われて一時的に晴れたが、本州の南海上を進んだ低気圧や冬型の気圧配置などにより雪または雨の降る日が多かった。

2 月

上旬は、周期的に本州付近を低気圧や前線が通過して冬型の気圧配置となり、雪や雨の日が多かった。中旬は、16日まで周期的に冬型の気圧配置となり雪や雨の降る日が多かった。17日以降は本州付近を進んだ高気圧に覆われて晴れの日があった。下旬は、天気は短い周期で変わり、日中は晴れの日が多かった。25日は一時的に冬型の気圧配置が強まり雪が降った。28日、北陸地方で「春一番」が吹いた。

3 月

上旬は、冬型の気圧配置となり雪や雨の降る日が多く、7日夜からは真冬並みの寒気が入り8日は平野部もまとまった積雪となった。中旬は、13日までは冬型の気圧配置となって気温が低く雪の降る日があったが、中頃は周期変化となり18日以降は高気圧に覆われて晴れた。下旬は、23～24日にかけては移動性高気圧に覆われ晴れとなり気温が上がったが、その後は気圧の谷の影響で天気がぐずついた。30日は上空に寒気が流れ込んだため、雪の降ったところがあった。

4 月

上旬の中頃までは気圧の谷の通過や上空の寒気の影響でぐずついた天気となったが、その後は高気圧に覆われ晴れた。中旬は、12日は低気圧の影響で雨となったが、その他は高気圧に覆われ概ね晴れた。20日は上空に寒気が入り、最高気温が前日より10度近くも下がった所があり、肌寒い一日となった。下旬は、高気圧に覆われ晴れた日が多かったものの、上空の寒気の影響で福井の平均気温は平年に比べかなり低かった。27日に「少雨に関する福井県気象情報(第1号)」を発表した。

5 月

上旬の中頃は高気圧に覆われて晴れたが、その他は上空の寒気や低気圧の通過による影響でぐずついた天気となった。中旬は、後半に気圧の谷の通過で曇の日があったものの、大半は移動性高気圧や日本の東海上に中心を持つ高気圧に覆われ晴れとなり暑い日が続いた。16日に「少雨に関する福井県気象情報(第2号)」を発表した。下旬は、低気圧の通過や日本の南海上に停滞している前線の影響でぐずついた天気の日が多かった。27日は高気圧に覆われるも上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり、夜遅くに嶺南西部の一部でひょうが降った。

6 月

上旬は、中頃までは高気圧に覆われ概ね晴れたが、その後は日本海の低気圧や本州南岸の前線の影響でぐずついた天気となった。北陸地方は5日頃に梅雨入り（平年の梅雨入り：6月10日頃）したと見られる。中旬は、初め高気圧に覆われて晴れたが、その後は梅雨前線の影響でぐずついた天気となった。19日は梅雨前線の活動が活発化、雷を伴う大雨となり、敦賀市で14時50分頃に竜巻が発生した。下旬は、梅雨前線の影響で曇や雨の日が多かったが、特に23日と30日は梅雨前線の活動が活発となり大雨となった。

7 月

上旬の中頃に前線の影響で雨となったが、その他は高気圧に覆われ晴れた日が多かった。北陸地方は2日頃に梅雨明けしたとみられ、統計を取り始めた1951年以降、最も早い梅雨明けの記録(1978年7月8日頃)を更新した。中旬は、前線や太平洋高気圧の縁辺に沿って流れ込んだ暖かく湿った空気の影響で、大気の状態が不安定となったため、曇や雨の日が多かった。下旬は、太平洋高気圧に覆われ晴れの日が続いた。

8 月

上旬の前半は高気圧に覆われ晴れた日が多かったが、後半は上空の寒気や日本海の前線の影響で曇や雨の日が多かった。中旬は、12日と20日に前線や台風第11号の影響で一時雨となった他は高気圧に覆われ概ね晴れた。下旬は、21～22日は台風第11号の影響により県下全域でまとまった雨を観測した。26日は上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となり、嶺南東部で大雨となった。美浜で期間降水量145.0ミリ(26日6時～11時)、最大1時間降水量51.0ミリを観測した。

9 月

上旬、天気は周期的に変わったが、特に3日は上空に寒気を伴った気圧の谷の通過で夜は雷を伴う大雨となった。中旬、前半は台風第15号が本州付近を通過したため天気が崩れた。14日～16日は秋雨前線の影響でぐずついた天気となった。15日に美浜で最大1時間降水量21.0ミリを観測した。その後は高気圧に覆われ晴れた。下旬、高気圧に覆われ晴れた日が多かったが、27日は寒冷前線の通過で夜は大雨となった。

10 月

上旬は、初めと終わりは低気圧の影響で天気は短い周期で変わった。中頃は高気圧に覆われ概ね晴れた。中旬は、初めと中頃は低気圧や気圧の谷の影響で雨となったが、その他は高気圧に覆われ晴天となった。下旬は、初めは低気圧の通過で雨、その後は高気圧に覆われて晴れる日が多かったが、28～29日は低気圧の通過により天気が崩れた。

11 月

上旬は、低気圧の通過や上空の寒気の影響で雨の日が多かった。中旬は、期間の終わりは高気圧に覆われ晴れたが、その他は気圧の谷の通過や上空の寒気の影響で晴の日が続かず、天気は短い周期で変わった。15日に福井で初霜・初氷を観測した。下旬は、前半は高気圧に覆われ晴天となったが、後半は冬型の気圧配置が続き曇や雨の日が多かった。

12 月

上旬は、7日は高気圧に覆われ晴れたが、その他は低気圧の通過や冬型の気圧配置の影響でぐずついた天気となった。福井で初雪を10日に観測した。中旬は、12日は高気圧に覆われて晴れたが、その他は冬型の気圧配置となる日が多く、雨や雪の降る日が続いた。敦賀で初雪を11日に観測した。下旬も冬型の気圧配置の日が続き、雨または雪の降る日が多かった。

	福 井			敦 賀		
観測項目	平均気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間 (h)	平均気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間 (h)
本 年	14.6	2165.0	1737.6)	15.5	2386.5	1654.7)
平 年 値	14.3	2257.9	1610.2	15.0	2230.7	1583.5
平年差比	+0.3	96%	108) %	+0.5	107%	104) %
階級区分	平年並	平年並	多い	高い	平年並	平年並
前 年	14.9	1976.0	1799.6	15.8	1658.5	1676.8

2001年（平成13年）気象要素の季節・月・年別平年比較表

冬(H12.12～H13.2)

春(H13.3～H13.5)

夏(H13.6～H13.8)

秋(H13.9～H13.11)

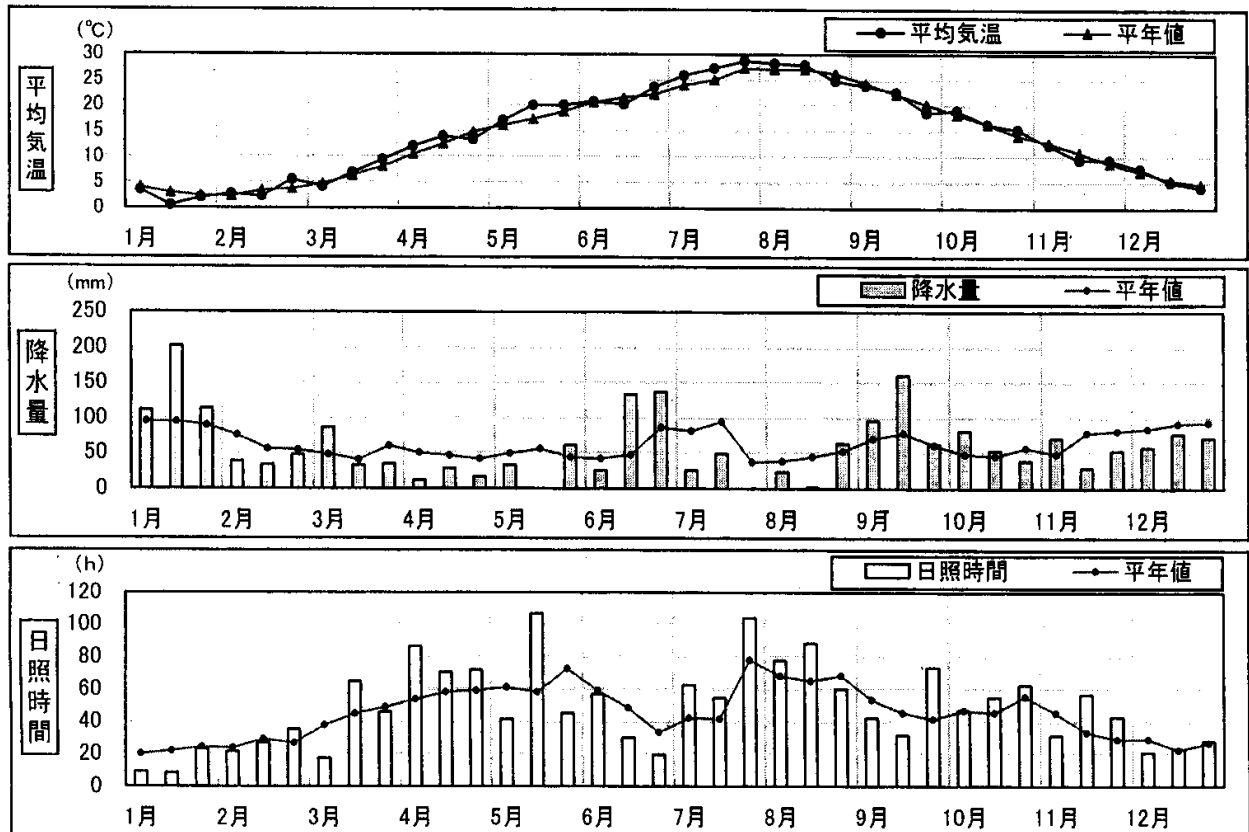
	官 署	平均気温 (℃)			降水量 (mm)			日照時間 (h)		
		本年	平年差	階級区分	本年	平年比	階級区分	本年	平年比	階級区分
冬	福 井	3.7	-0.3	低 い	794.0	107%	多 い	222.9	103%	平年並
	敦 賀	5.3	0.0	平年並	825.5	109%	多 い	218.6	102%	平年並
春	福 井	13.1	+0.9	高 い	305.0	70%	かなり少ない	548.9	111%	かなり多い
	敦 賀	13.7	+1.1	かなり高い	364.0	85%	少ない	525.8	109%	多 い
夏	福 井	25.3	+0.7	高 い	460.5	88%	少ない	553.6)	110%	多 い
	敦 賀	25.6	+0.9	高 い	525.5	102%	平年並	532.3)	107%	平年並
秋	福 井	16.3	-0.2	平年並	645.5	113%	平年並	441.8	112%	多 い
	敦 賀	17.5	+0.1	平年並	574.5	107%	平年並	419.9	108%	多 い

月	官 署	平均気温 (℃)			降水量 (mm)			日照時間 (h)		
		本年	平年差	階級区分	本年	平年比	階級区分	本年	平年比	階級区分
1	福 井	2.0	-1.1	低 い	427.5	153%	かなり多い	39.8	62%	かなり少ない
	敦 賀	3.4	-1.0	低 い	463.0	169%	かなり多い	32.3	50%	かなり少ない
2	福 井	3.4	+0.3	平年並	119.0	64%	かなり少ない	82.5	106%	平年並
	敦 賀	4.9	+0.6	高 い	122.0	64%	少ない	85.5	119%	多 い
3	福 井	6.9	+0.5	高 い	153.5	104%	平年並	127.4	97%	平年並
	敦 賀	7.9	+0.5	高 い	202.5	134%	多 い	123.9	96%	平年並
4	福 井	13.2	+0.5	高 い	57.5	42%	かなり少ない	228.6	134%	かなり多い
	敦 賀	13.9	+0.9	高 い	51.0	38%	かなり少ない	221.9	133%	かなり多い
5	福 井	19.1	+1.6	かなり高い	94.0	63%	少ない	192.9	101%	平年並
	敦 賀	19.2	+1.6	かなり高い	110.5	76%	少ない	180.0	97%	平年並
6	福 井	21.5	+0.1	平年並	296.5	169%	かなり多い	105.9	76%	少ない
	敦 賀	21.9	+0.5	平年並	245.5	136%	多 い	116.2	86%	少ない
7	福 井	27.4	+1.9	かなり高い	75.0	35%	少ない	221.2)	137%	かなり多い
	敦 賀	27.6	+2.0	かなり高い	98.5	49%	少ない	209.1)	129%	多 い
8	福 井	26.9	+0.1	平年並	89.0	65%	平年並	226.5	112%	多 い
	敦 賀	27.3	+0.2	平年並	181.5	135%	多 い	207.0	103%	平年並
9	福 井	21.7	-0.6	平年並	318.5	151%	多 い	147.0	105%	平年並
	敦 賀	22.5	-0.4	平年並	241.0	117%	平年並	149.1	109%	多 い
10	福 井	16.9	+0.6	高 い	174.0	115%	多 い	164.2	111%	多 い
	敦 賀	18.1	+0.8	高 い	149.5	105%	平年並	149.0	102%	平年並
11	福 井	10.4	-0.4	低 い	153.0	73%	少ない	130.6	123%	かなり多い
	敦 賀	11.9	-0.2	平年並	184.0	97%	平年並	121.8	115%	多 い
12	福 井	5.6	-0.2	平年並	207.5	77%	少ない	71.0	93%	平年並
	敦 賀	6.9	-0.3	平年並	337.5	120%	多 い	58.9	73%	少ない
年	福 井	14.6	+0.3	平年並	2165.0	96%	平年並	1737.6)	108)%	多 い
	敦 賀	15.5	+0.5	高 い	2386.5	107%	平年並	1654.7)	104)%	平年並

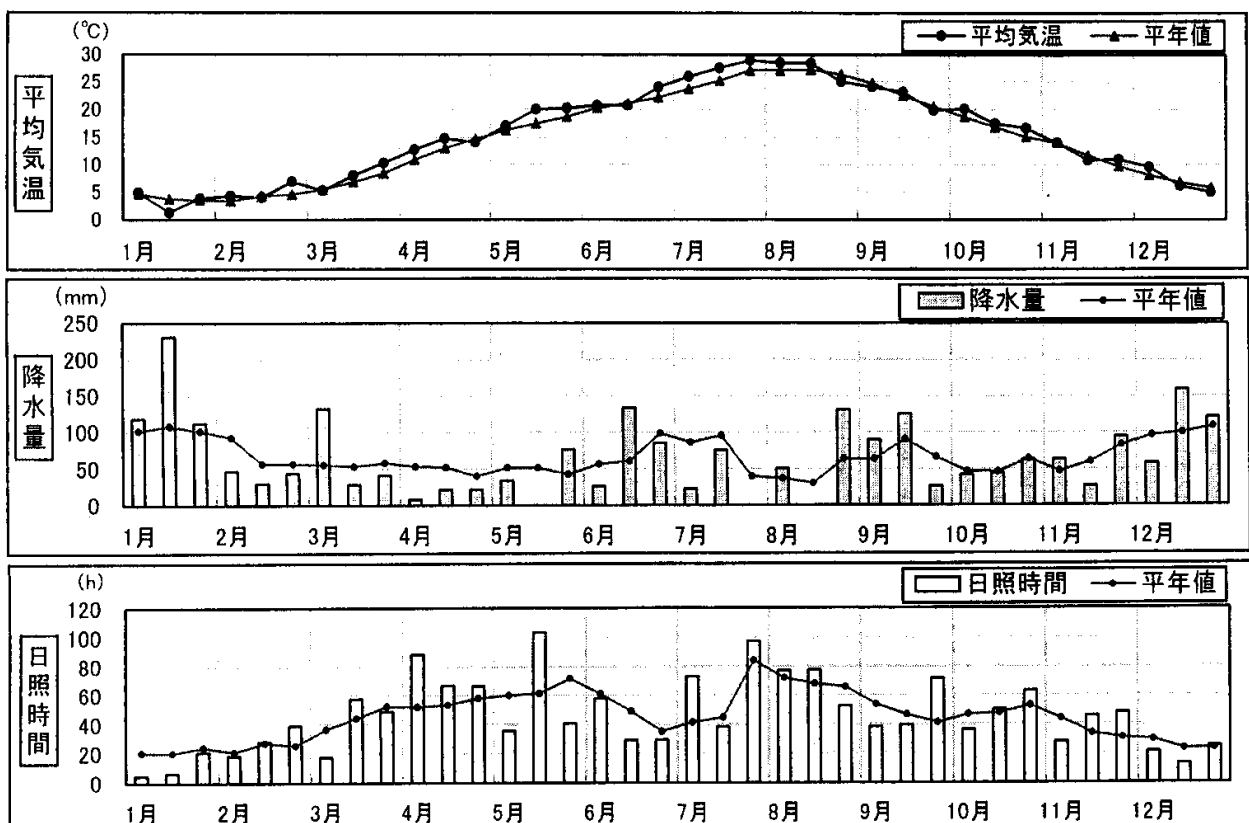
気温・降水量・日照時間の旬別変化図

【福 井】

2001 年（平成 13 年）



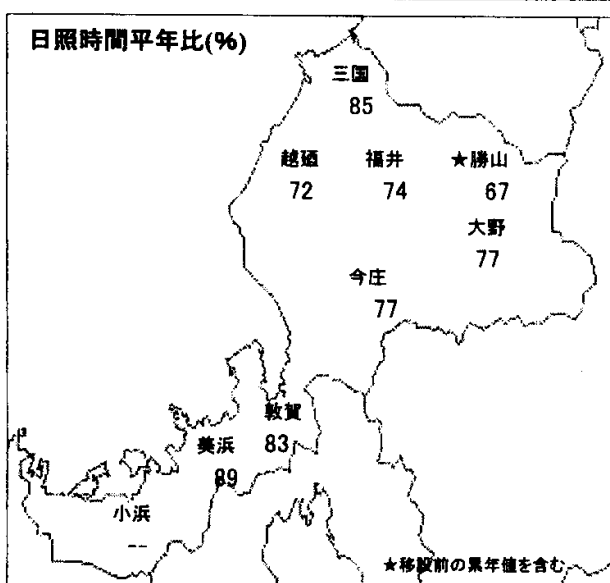
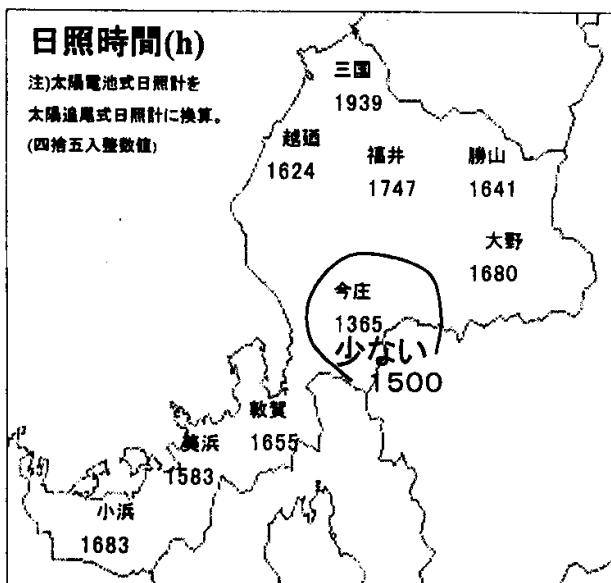
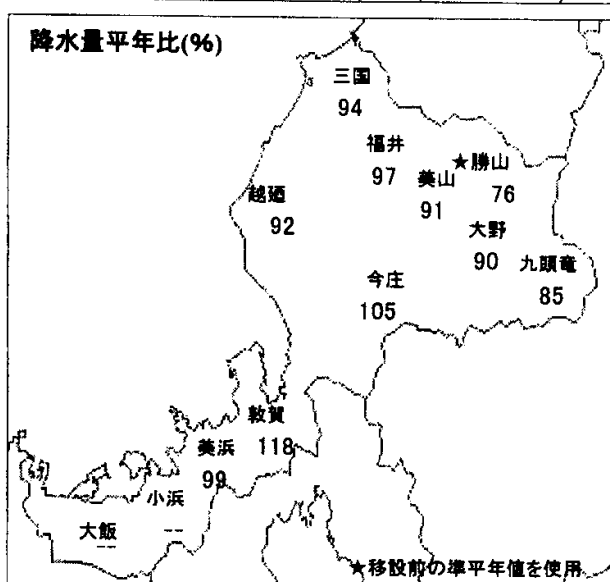
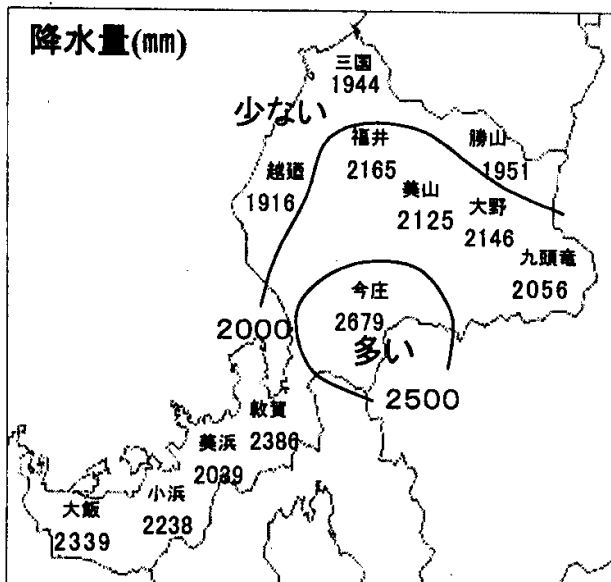
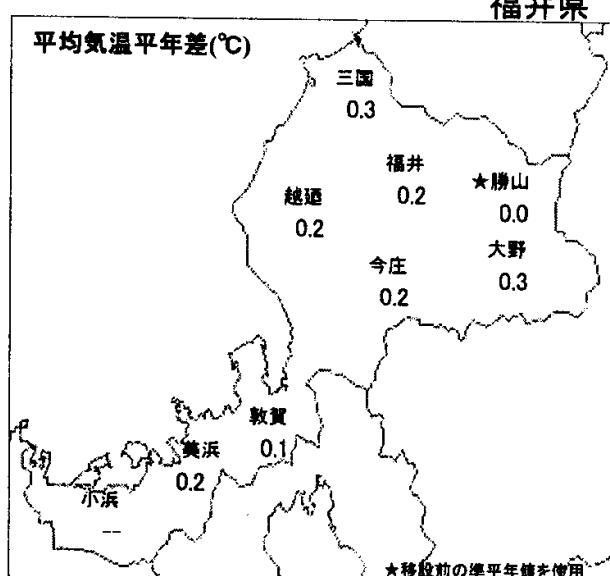
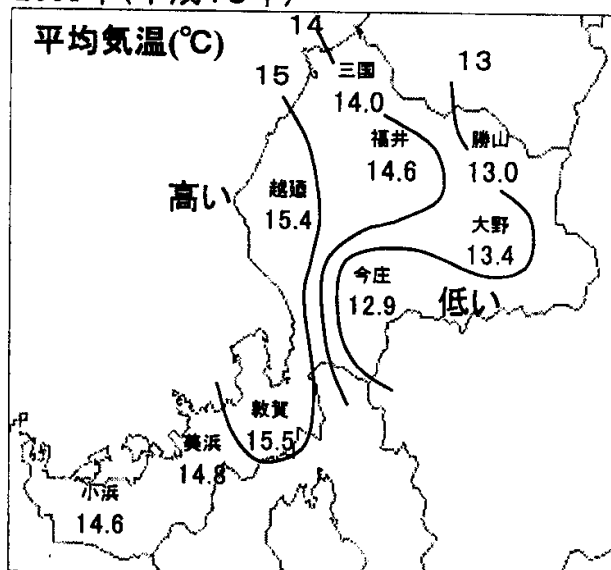
【敦 賀】



気温・降水量・日照時間分布図(アメダス)

2001年(平成13年)

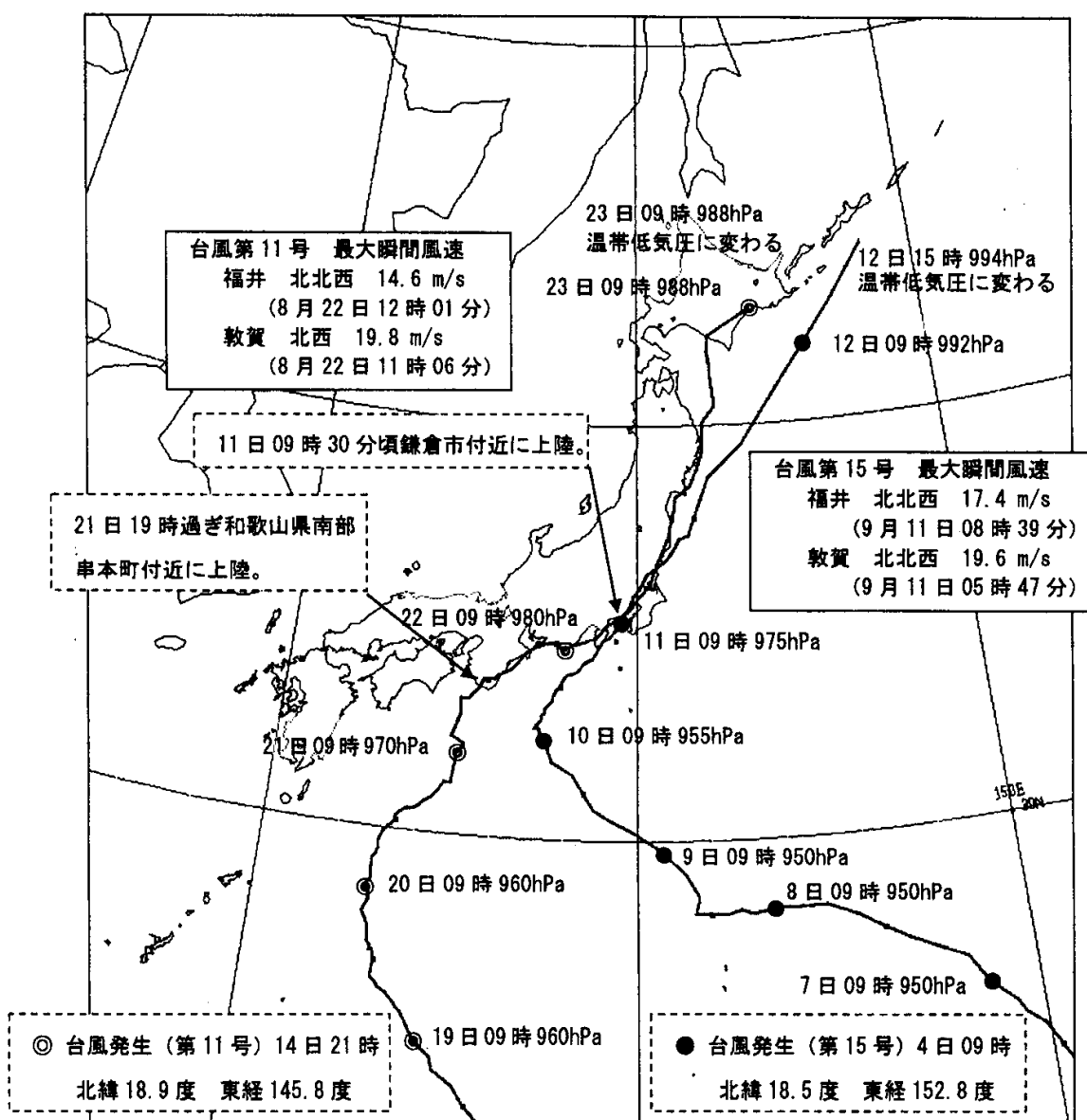
福井県



(注)小浜の年平年値は平年値としての統計年数8年に満たないためありません。

台 風 経 路 図

(平成13年(2001年)に日本に上陸した台風第11号・第15号)



年間発生数は26個で、平年並(26.7個)となった。

上陸数は2個(平年は2.6個)だった。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生数	0	0	0	0	1	2	5	6	5	3	1	3	26
(平年値)	(0.5)	(0.1)	(0.4)	(0.8)	(1.0)	(1.7)	(4.1)	(5.5)	(5.1)	(3.9)	(2.5)	(1.3)	(26.7)
上陸数	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
(平年値)						(0.2)	(0.5)	(0.9)	(0.9)	(0.1)	(0.0)		(2.6)

(注) 1 台風の発生：熱帯低気圧が台風(風速17m/s以上)となった時点の月を発生月とする。

2 台風の上陸：台風が中心が島部を除いた日本のどこかに確実に上陸したことをさす。

3 平年値：1971年～2000年までの30年間の観測値を基に作成。

2001年（平成13年）気象災害

（福井県内）

月 日	種 別	気象状況	被害状況
1 月 3 日	沿岸波浪害	冬型の気圧配置で、雪が山沿い・山間部で強く降った。	越前町大樟地籍、大樟漁港北側の防波堤で釣りをしていた人が海に落ち死亡。
1 月 13 日 ～ 1 月 22 日	積雪害 着雪害 雪圧害 海上波浪害	12 日頃から冬型の気圧配置が強まり、15 日には輪島上空約 5400 メートルで氷点下 42.5 度の強い寒気が流れ込んだ。このため、福井県地方では 13～17 日にかけて断続的に強い雪が降った。17 日には山沿いから山間部で積雪の深さが 2～2.5 メートル、平野部でも 1 メートル近くに達した所があった。19 日には冬型の気圧配置が緩み、今回の一連の大雪は終息した。	福井県地方では、1987 年（昭和 62 年）から雪の少ない年が続いていたが、福井市などでは、その前年（昭和 61 年）の冬以来 15 年ぶりの積雪の深さを記録する大雪となった。この大雪のため、福井県地方では雪下ろし作業中屋根からの落下などで死者 5 名、負傷者多数を数え、またビニールハウス倒壊等の被害が出た。また、交通機関では運休・遅延などの交通障害が発生した他、高速道路の通行止めや幹線道路の大渋滞が相次いだ。
4 月 12 日	山がけ崩れ害	前線を伴った低気圧が日本海北部を発達しながら北東進した。このため、県内全域で雨となった。	12 日、今庄町板取の国道 365 号で道路横の山肌高さ約 20 メートル、幅 15 メートルにわたり土砂が崩れ、道路の半分近くを塞いだ。13 日 00 時 30 分から同町上板取一桁ノ木峠の 5 和を一時通行止め。
5 月 27 日	ひょう（あられ）害	日本海にある高気圧が、北陸地方を覆っていたが、上空を寒気が通過したため、大気の状態が不安定となった。敦賀測候所では 27 日 20 時 15 分～23 時 55 分まで雷を観測した。	27 日深夜、小浜市と大飯町の一部で大粒のひょうが降り、収穫直前だった大飯町特産の梅の一部に傷が入るなどの被害が出た。小浜市西相生では、直径 3 センチほどの大きさのひょうが午後 10 時半頃から約 15 分間降り続いた。
6 月 19 日 ～ 6 月 20 日	竜巻害 その他（雨害）	日本海にある梅雨前線に向かって、南海上から暖かく湿った空気が流入し、前線の活動が活発化した。このため、西日本から北陸、東海および東北地方にかけて大雨となった。レーダー観測によると北陸地方では局地的に積乱雲が非常に発達し、高度 1 万 2 千メートル以上に達していた。この非常に発達した積乱雲によって 14 時 50 分頃、敦賀市付近で竜巻が発生した。	雨の影響で 19 日 14 時 30 分頃、JR 小浜線の普通列車 4 本が運休、3 本が遅延し、約 600 人に影響。JR 越美北線の普通列車 3 本が遅延、約 100 人に影響。20 日、JR 越美北線を始発から上下線計 8 本を運休、約 700 人に影響。大野市の山間部で 1 時間に 30 ミリを越すなど大雨が降り、国道 157 号線の大野市中島～岐阜県境温見峠間 20Km を通行止め。19 日 17 時頃池田町田代の国道 417 号線で幅約 7m、高さ約 30m にわたって土砂が流出したため通行止め。北陸自動車道で 19 日午後、県内前線で 50 ㌔規制。 竜巻の影響で敦賀市古田刈、和久野の両地区で家屋 7 軒、納屋 1 軒の屋根瓦が吹き飛ばされ、街路樹 22 本が折れた。若葉町、敦賀公設市場のシャッターが破損、駐車場の車両 6 台の窓ガラスが割れた。魚市場の店内や玄関の天井が破損し、駐車場のトラック 2 台が横転した。

月 日	種 別	気象状況	被害状況
7 月 15 日	落雷害	北陸付近は太平洋高気圧に緩やかに覆われていたが、南海上から湿った空気が入り、大気の状態が不安定となり、午後には雷を観測した。	15 日午後 2 時 40 分頃、鯖江市三六町一丁目の中央中グランド近くで落雷があり、サッカーの交流試合をしていた部員 8 人が「頭が痛い」「気分が悪い」と体の不調を訴え近くの病院で検査を受けた。うち 1 人が経過を見るため入院した。
7 月 17 日	強雨害	秋田沖には低気圧があつて東に進んでおり、この低気圧から北陸沿岸を通過して九州にかけて前線が伸びていた。また、前線に向かって南海上から湿った空気が入ったため北陸地方は大気の状態が不安定となった。	JR 小浜線、若狭本郷駅で午後 3 時 15 分頃、雨量が規制の 30 mm に達したため、敦賀－東舞鶴駅間の普通列車の上りが 52 分、下りが 56 分遅れ、250 人に影響が出た。
8 月 9 日	浸水害 その他（雨害） 落雷害	日本海北部を北東進していた低気圧から伸びた寒冷前線が山陰沖に達し、この前線に向かって、南海上から暖かく湿った空気が入り、大気の状態が不安定となった。	敦賀市内中央町の市役所周辺などの道路が十数センチ冠水。市役所周辺の 2 か所が一時車両通行止め。午後 2 時 40 分頃、JR 小浜線西敦賀－三方駅間で雨量が規制の 30 ミリに達したため、敦賀発と東舞鶴発の普通列車上下 2 本ずつが敦賀駅－十村駅間などで区間運休。午後 2 時半頃落雷で送電線が断線、美浜、三方両町で約 40 分間にわたって 1400 戸が停電した。
8 月 26 日	浸水害 強雨害 その他（雨害）	日本海には上空に寒気を伴った低気圧があつて、東北東に進んだ。北陸地方は弱い気圧の谷となっており、大気の状態が不安定となった。	三方郡三方町気仙の住宅 1 戸が床下浸水。国道 162 号は三方郡三方町世久津地係で 20～30 センチ冠水したため、昼過ぎまで一部、通行止め。また、美浜町の町道中寺金山線は興道寺地係で、用水路の溢水、一部決壊により土砂が流出したため、通行止め。JR 小浜線は 20 時 10 分頃、十村駅で雨量が規制値の 25 ミリに達したため、普通列車上下合わせて 5 本に最大 8 分の遅れが出た。
9 月 12 日	沿岸波浪害	北海道付近を北東に進んだ台風第 15 号の影響で、海上は波が高くなっていた。	10 時 30 分頃、越廬村ぐみ崎、ぐみ崎駐車場近くの岩場（通称：軍艦島）で高波にさらわれた友人を助けようとした人が波にのまれて死亡した。
9 月 15 日 ～ 9 月 16 日	山がけ崩れ害 その他（雨害）	15 日 9 時、北陸沿岸の秋雨前線の影響で大気の状態が不安定となった。	国道 162 号線は 16 日、小浜市田島で道路わきの斜面が長さ 15 メートル、高さ 7 メートルにわたって崩れ、道路を埋めたため、10 時 15 分から田島－矢代間 3.7 ㎞を全面通行止め。前日からの雨で、15 日夜から 16 日 6 時まで崩れたものとみられる。けが人はなかった。15 日 13 時 50 分頃、JR 小浜線的美浜駅で 1 時間の雨量が規制値の 25 ミリに達したため、東美浜－三方間で普通列車上下 2 本が 30 分の徐行運転。150 人に影響した。